

川崎市立旭町小学校 学校だより

あさひこ

令和8（2026）年8月25日



学校目標

あ 明るく元気な子
さ 最後までがんばる子
ひ 人のためにつくす子
こ 心やさしい子

あきらめない心

校長 荒金 庸子

長い夏休みが終わり、静かだった学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。まだまだ、暑い日が続きます。子どもたちの体調を考慮しながら学校生活を再開してまいります。ご家庭でも体調を整えられるよう、ご配慮くださいますようお願いいたします。

この夏、高校野球をご覧になった方も多くいらっしゃったのではないかと思います。どのチームの選手も、決してあきらめることなく、最後まで粘り強くたたかい、わが校の勝利を信じて生き生きと応援する高校生たちの姿を見て、感動する毎日でした。高校球児の全力でプレーする姿から「あきらめない心」の大切さを改めて感じました。これからの社会は変化が激しく、予想できない課題に向き合う力が求められています。そのような時代を生きる子どもたちにとって、高校球児たちが示してくれた粘り強く挑戦し続ける姿は、見習うべき姿の一つではないでしょうか。学習で分からないことがあってもすぐにあきらめずに考え続けることは「確かな学力」につながります。また、日々の努力を積み重ね、仲間を励まし支え合うことは、子どもたちの「豊かな心」を育みます。

一歩ずつでも続ける努力は、これからの社会を生き抜くために必要な力となり、きっと子どもたちの大きな成長となります。日々の中で、うまくいかないことや失敗してしまうことがあると思います。でも、そんなときこそ、「もう少し頑張ってみよう」「次はできるようになりたい」と、子どもたちには前向きな気持ちをもって、これからの学校生活を過ごしてほしいと思います。

さて、夏休み中は大きな怪我や事故等の連絡もなく、保護者の皆様や地域の皆様の日常的な見守りや温かい声かけのおかげで、子どもたちは安全で楽しい夏休みを過ごせました。心より感謝申し上げます。

子どもたちは、家庭・地域・学校の支えの中で大きく成長していきます。学校が始まるこの時期は、生活のリズムを整えることに加え、安心して登校できるよう励ましの言葉をかけていただければ幸いです。子どもたちは、大人に見守られ、認められ、応援されることで、自信をもって新しい一歩を踏み出すことができますと考えます。学校と家庭が力を合わせながら、一人一人の成長を支えていきたいと思っています。

前期の教育活動も残り1ヵ月となります。「あきらめない心」をもちつつ、これまでの学習をしっかりと振り返り、後期の学習につなげていってほしいと思います。今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ご家庭でも防災について話し合いましょう

夏休み中、各地で地震や大雨などの自然災害に関するニュースが相次ぎました。災害はいつ起こるか分かりません。学校では避難訓練や防災学習を通して、安全に行動する力を育てています。ご家庭でも日頃から災害時の備えについて話し合っておくことが大切です。避難場所や避難経路、家族が離れているときの連絡方法を確認するとともに、水や食料、懐中電灯などの防災用品が備えられているか見直してみてください。また、通学路や自宅周辺の危険な場所を親子で確認し、「もしものときにどう行動するか」を話し合うことも大切です。災害への備えは、大切な命を守る第一歩です。この機会にぜひ、ご家庭で防災について考えていただければと思います。

【旭町小体育館が工事中のため、避難所は、富士見中・市立川崎高校の近隣校になります】

